



会からのお知らせ

○ 平成27年7月 定例役員会

日時 7月5日(日) 14:20～16:30
場所 スポーツセンター会議室(2F)
開催日にご注意(日曜日の開催となります。)

○ 住所変更

小林裕子さん(昭和57年法学部卒)
新住所：Cuscaden Residences #17-08
28 Cuscaden Road Singapore 249723
留守宅：〒189-0023 東村山市美住町2-17-18
(電話は従来と変わりません。)

○ 退会

今関 繁雄さん (自己都合)

○ 他稲門会関係

5月17日(日)	町田稲門会総会	當間会長 大内副会長出席
6月6日(土)	武蔵野稲門会総会	大内副会長 三宅顧問出席
6月7日(日)	国分寺稲門会総会	池田副会長 大内副会長出席
6月14日(日)	西東京稲門会総会	當間会長 山本副会長出席
6月20日(土)	東大和稲門会総会	當間会長 岡田副会長出席

○ 「第20回総会は平成27年11月8日に開催」

今年度の総会は11月8日(日)午後2時より、東村山駅西口ワンズタワー2階のサンパルネ・コンベンションホールで開催することが決まりました。年1度の大切な大会ですので、会員の皆様には予定に組み入れていただき、是非出席いただきますようお願いいたします。
詳細につきましては、決まり次第第二ニュースでお知らせします。



< 4月・5月・6月生まれ合同お誕生会の報告 >

4月・5月・6月生まれのお誕生会は、5月9日(土)午後5時から慣例の久米川駅近くの『割烹丸藤』で盛大に開催された。参加されたお誕生者は21名、共に祝いした方8名の合計29名でした。4月生まれの方は21名中9名、5月生まれの方は15名中6名、6月生まれの方は17名中6名の参加を頂きました。お誕生会の該当月を3ヶ月とした効果で、元気あふれる多くのお誕生者の方々の参加をいただきました。幹事兼司会紅松容子さん・幹事吉沢雅子さんのもと、楽しく又肅々と進められました。



出席者の皆さんの折角のスピーチを其々掲載できず申し訳ありませんが、殆んどの方が『限界健康年齢』への挑戦・飛躍を考え実行されておられ、大変素晴らしい事だと思います。又、自分のファミリー関係と孫との話、健康増進と食事療法、いざと云う時の専門医と医局、日夜の老老介護、ボランティア活動、海外旅行、現役会員の明日への挑戦と意欲、人生設計の捲土重来を期す話等々、色々考えさせられるお話しをして頂きました。

会の次第は、岡田一郎さんの開会挨拶、南湖修一さんの乾杯の発声、楽しい歓談と美酒、お誕生者の紹介・スピーチ、団体記念撮影、井垣さんの音頭で東村山稲門会の歌・早稲田大学校歌の大合唱そして名司会の紅松さんの閉会挨拶でお開きになりました。

“又来年元気にお会いしましょう”！

＊お誕生者の方々（敬称略・スピーチ順）

4月生まれ：吉沢 勇（37法）、當間昭治（43法）、羽倉明彦（56法）、山本岩男（45法）
土橋雄次（35理）、成田延雄（28理）、小菅 宏（39理）、石井久長（43法）
富沢文雄（48理）

5月生まれ：赤荻洋一（40商）、吉田 勝（43理）、森本 吏（39政）、滝川桜子（40文）
深瀬 聡（51理）、相馬信一（36文）

6月生まれ：當摩照夫（45理）、風間和夫（30法）、塩田典男（35政）、井原 徹（44法）
田口政澄（36理）、加藤正俊（49商）

＊一緒にお祝いした方（敬称略・順不同）

高橋正夫、月森通夫、井垣和太、岡田一郎、南湖修一、吉沢雅子、
紅松容子、池田 孝（記：池田 孝 写真：赤荻洋一）

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

旅行同好会

世話人 高橋正夫・赤荻洋一・山本岩男



5月12日(火)～13日(水)信濃の国・松本浅間温泉と信濃路“歴史文化研修”旅行会を22名の参加を得て実施致しました。幸い前日の天気予報と異なり両日共素晴らしい旅行日和に恵まれ、前年5月13日～14日の“那須高原と足利学校”旅行会同様、皆元気に老骨に鞭打って青春時代に戻り、楽しい二日間を満喫してまいりました。

後、懇談・懇親及び歴史文化会(へ)が早速始まりしました。途中、甲斐駒ヶ岳(2,967m)、富士山等眺めつつ、長坂峠近辺に稲門会員・守屋幸一郎氏のご先祖の地《西暦572年飛鳥時代、軍権を握る最有力豪族・物部守屋大連(おおむらじ)に任じられ、587年蘇我馬子との『丁未の乱』で敗退したが、馬子の妻が守屋の妹であった関係かその後『祭神』として金色の三つ柏神紋の守屋神社が関西・長野などに建立されている。・但し、日本書紀他で色々説が有る》の歴史講話を守屋さんから聴き、感嘆しつつ、お昼頃、諏訪大社に到着しました。



諏訪大社＜来年、7年に一度の御柱祭・開催平成28年4月2日～6月15日＞下社・上社・万治の石仏等々の参拝・見学後、『諏訪湖の浮城』と呼ばれた高島城(1598年築城、初代藩主・諏訪頼水以来10代藩主忠礼に至る270年の間その威容を誇った)を見学しました。

午後3時頃、松本市内の重要文化財旧『開智学校』《明治5年開校、小学校教育を第一の使命としたが幼稚園、中学校、図書館など社会教育機関の発祥の母体となった》を見学、その後『松本城』を車中より眺めつつ、明治9年開校の信州一のエリート校・現・『松本深志高等学校』(稲門会員・藤沢博恭氏母校、新制2回生)をバスで一周し、5時過ぎに晴れて浅間温泉名門『地本屋』に投宿しました。

夜の宴芸部会は世話人代表のお達しに依り、信濃県人会〈藤沢・加藤・池田〉主導の元進められました。先ず、元気な有志の会員と長野県歌『信濃の国』を6番まで、滝川桜子さんのハーモニカ伴奏で4曲の合唱から始まり、歓談と美酒に酔いながら殆んどの会員が演壇で名曲を心から謳って頂きました。我が稲門会には隠れた役者がかなり居ることが実証されました・・・。

第2日目：山紫水明、紺碧の空、朝8時気温18度、微風なんと旅行会に最適な気候に恵まれました。雪渓が残る北アルプス連峰がくっきりと我々を迎えてくれます。燕岳・常念岳・有明富士・遠くは白馬岳等々山の名前と説明及び史跡の歴史的背景は、毎回高橋世話人代表の十八番です。

昼少し前、安曇野の“東洋のロダン“と言われる『礪山美術館』《明治期日本近代彫刻の扉を開いた荻原守衛(礪山)の作品と資料を保存》を鑑賞し、すぐ近くの穂高神社《西暦527年九州北部福岡県の海洋民族・安曇族は大和朝廷に敗れ、日本海を北上し糸魚川から信濃の国穂高地区に逃れてきた。安曇族の祖神である海神『穂高見命』(ほたかのみこと)が祀られている。・・・稲門会員・長野長正長野旅行会塾に依る》を参拝しました。

昼前、大王わさび農園《沢わさび・水わさび農場としては日本最大級で、北アルプスの湧水を一日12万トン引いている》を見学しました。最後に上流上高地・梓川と奈良井川が合流し『犀川』(さいがわ)になるが氾濫対策としてやっと江戸時代に功を奏した堰『拾ヶ堰』史跡を見学し、疲れも忘れ、無事皆元気に午後6時前に東村山駅に帰着しました。旅行会幹事の皆様色々有り難うございました。大変実りのある旅行会でした。来年又多くの会員の皆様のご参加を期待しております。



【参加者】・・・敬称略

赤荻、阿部、井垣、池田、大内、加藤、木野(夫妻)、倉田、黒田、幸田、高橋、滝川桜子、當間(夫妻)、長井、長野、南湖、藤沢、守屋、山本、吉田(勝)

記：信濃県人会 池田 孝

カラオケ同好会

世話人 南湖 修一 TEL 042-390-2287

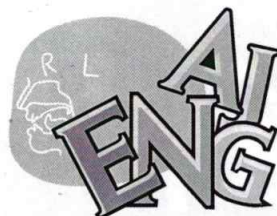


5月9日の参加は3名とやや低調でしたが、皆元気に歌い楽しみました。これからの例会予定は次の通りです。皆様ぜひご参加ください。なお、7月からは久米川駅南口西友の30mほど先のビル2階「カラオケランド ズー」(TEL 042-393-5522)で行います。(開始時間にもご注意ください。)

平成27年6月6日(土)	:	19:00より(先月号のご案内から変更)
7月5日(日)	:	19:00より
8月は お休み		
9月5日(土)	:	19:30より

グローバルサロンの英語の会

世話人 滝川正義 TEL 042-394-8187
小亀輝雄、木野友博、山本岩男



5月18(月) サンプルネ会議室で、第14回の会を開催致しました。滝川さん挨拶のなかで、カンヌ映画祭で上映された「あん」は、東村山の久米川周辺を舞台に撮影された映画で、今回グランプリ獲得が期待されていることが紹介された。

1. LISTENING Voice of America から Learning English の教材を使用
「America remembers Abraham Lincoln's assassination」をListening及び木野さんの英文解釈で詳しく説明した。
2. SINGING ① Bridge over troubled water
② You raise me up を合唱した。
3. GUEST SPEAKER: 赤荻洋一 氏
テーマ<ヨーロッパ鉄道の旅>
ヨーロッパ25ヶ国の鉄道事情をカラー写真の教材で説明した。
4. その他 担当 山本
和製英語の誤り 「ハンドルを切って」って言うてるの！

参加者(敬称略) 倉田、滝川(桜)、守屋、木野、吉澤(勇)、赤荻夫妻、小亀、宮元、滝川(正)、山本

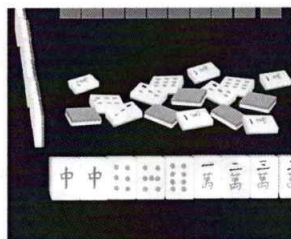
講習会終了後、サンプルネ喫茶室で懇談会を開き、会話を楽しみました。

次回第15回は平成27年6月16日(火) 市民センター2階会議室 14:00～16:30

ゲストスピーカー Ms. MARIA THERESA KUNISAWA (フィリッピンマニラ出身)
外国人との会話を楽しめます。皆様奮ってご参加下さい。

麻雀同好会

世話人 阿部 茂 TEL 042-332-0298



第68回大会のご案内

日時 6月21日(日) 12:30～

場所 サロン「園」 TEL 394-4444

会費 4,000円

財政的に多少の余裕がありますので、満貫賞(チョコレート)、役満賞(金一封)を用意いたします。懇親会は希望者のみ別途実費にて、東村山駅近辺で実施。

締切 6月15日(月)までに阿部までご連絡ください。

奮ってご参加ください。

第1回早慶対抗麻雀大会の結果報告

東村山稲門会が準優勝を飾りました！

去る4月26日、東村山駅そばの「ぷらら」にて早慶対抗麻雀大会が行われました。ルール調整も終わり、早慶それぞれ6名ずつ、12名3卓での対戦となりました。ルールは稲門会で行われているものとはほぼ同じ、三田会で行われているものとは随分違うため、当方有利のはずでした。が、麻雀は運、ツキの勝敗に及ぼす影響が大きく、結果は、個人戦優勝、準優勝とも三田会にさらわれてしまいました。しかし団体戦では堂々の準優勝となりました！「お前たち、何をやってんだ！」とお怒りの先輩諸兄、次回の参加をお願いいたします。

稲門会からの参加者 : 阿部、池田、小亀、滝川、田口、當間(五十音順、敬称略)

郷土史の会

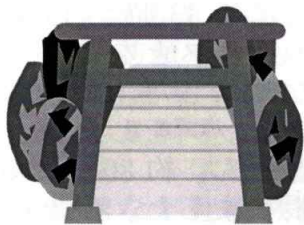
世話人

高橋 正夫

TEL 042-309-3407

阿部 茂

042-332-0298



東大和市の史跡を巡って、2月は東部地域、今回4月29日は西部地域を周りました。今回も東大和稲門会から4名の方が参加されました。

案内は前回に引き続いて、東大和市郷土博物館の後藤氏で、27ページにわたる資料と地図を準備していただき、懇切なガイドぶりで説明を受けました。9時半にモノレール・上北台駅をスタートし、創建1,400年という歴史を持つ豊鹿島神社では宮司の案内で神殿内部も見学できました。

した。

7ヶ所の史跡と狭山緑地～郷土博物館を周り、郷土博物館ではプラネタリウムでの星空観察もできました。最後は奈良橋バス停で3時前に解散しました。

参加者：(敬称略) 阿部・大内・黒田・滝来(洋)・高橋夫妻・當間・豊田・町田

守屋・山本・吉沢(勇)

東大和稲門会 平会長・南副会長・大島氏・中西氏

なおホームページのブログにもアップしてありますので、写真もご覧ください。

(高橋 正夫 記)

田無「東大農場」を歩く

郷土史の会も市外に飛び出し、今回は西東京市です。東大農場は東京ドーム5個分の広さがあり、牧草地には牛が放牧されているとのこと。農業実習の場所で、穀類、野菜、牧草、花などが栽培されており、公園とは違った雰囲気が楽しめます。距離約6Km、2時間位の平坦コースです。

日時 : 6月23日(火) 午前9時

集合場所 : 東村山駅高田馬場方面行ホーム

コース : 東村山駅→田無駅→総持寺→田無神社→東大農場→西原自然公園
→多摩六都科学館(入館しない予定)→花小金井駅

その他 : 花小金井駅付近で希望者で昼食をとります。

空模様が怪しいときは8時30分までに阿部までご連絡ください。(阿部 記)

音楽同好会

世話人

市川 彰彦

TEL 042-308-8181



5月15日(金) 萩山公民館第一集会室 13時半～

ピアノ 鵜飼節子先生、オカリナ 伊藤和江、篠笛 沼田ともえ

ギター・オカリナ 市川

例によって「東村山稲門会の歌」を鵜飼先生のピアノ伴奏で声高らかに歌いました。そのあとは主に心の名歌集 小歌集 1・2 より選択しました。「若葉」「牧場の朝」「野なかの薔薇」「ローレライ」「アニーローリー」「灯」「ロッホローモンド」「五番街のマリー」「夏の思い出」「遥かな友

に」「四季の歌」。

ひとしきり歌ったあとスペインへの演奏旅行を果たした沼田ともえさんの篠笛で「初恋」を演奏、またスペイン旅行の断片的印象を話され「追憶」(スペイン民謡)を吹きました。

次に「忘れな草をあなたに」「イエスタデー」(ビートルズ)を上記の三人で冷や汗ながら演奏。音楽雑学では前述の「ロッホローモンド」と「五番街のマリー」の類似性について、また明治時代に発表された「王政維新」「憲法発布」の作詞につけられた曲はモーツァルトでありハイドンだったことを鵜飼先生のピアノ演奏で種明かしをしました。

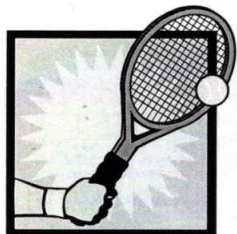
最後に鵜飼先生にリクエストしていたベートーベン作曲「エリゼのために」とシューマン作曲「トロイメライ」を弾いていただき、お開きになりました。次回は9月を予定しています。

参加者(敬称略)：岡田、高橋(正)、滝川(正)、守屋、吉澤夫妻、小林(傳)、吉田(勝)、豊田、小菅夫妻、福田(昇)、鵜飼、沼田、伊藤、市川夫妻

テニス同好会

世話人 野村 茂樹

TEL 042-393-7036



5月の定例テニスは5月11日(月)に柳泉園コートEにて13時～15時までに行いました。久しぶりに好天続きで、暑いなかでのテニスとなりました。クレーコートなので、水をまきながらのプレーとなりました。例の如くミニテニス、ストローク、サーブで軽くウォーミングアップをした後、試合を行いました、6人の参加なので中々休む暇がありません。約80分で6試合が出来ました、紅一点の市川さんも張り切って頑張りました。少々イレギュラーにも負けずに暑い中、心地よい疲れを感じるくらいプレーしました。

参加者(敬称略):市川(晴)、田島、當間(昭)、野村、吉田(劭)、吉田(勝)

又、8月以降の会員のプレー希望日をアンケートにより各自の都合を聞いたところ、日曜、月曜、水曜となりましたので抽選はその曜日を申込するようにしました。

6月予定 — 6/1(月)運動公園Cコート、11時～15時、

6/10(水)運動公園Dコート、13時～15時

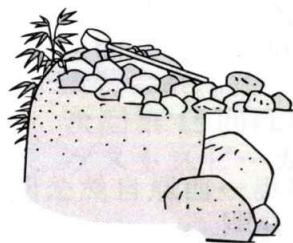
7月予定 — 7/12(日)運動公園Cコート、9時～11時

7/22(水)運動公園Bコート、15時～17時、

予備日 7/20(月)運動公園Bコート、15時～17時

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第80回「稲酔」俳句会は、6月27日(土)14:00～久米川駅傍「丸藤」2階で開催いたします。兼題は「紫陽花」(あじさい)「あぢさゐ・四葩(よひら)・七変化・額の花」です。梅雨入りを前にどんどん緑を増して来て、先の尖った広い玉子形の葉の間に大きな手まり状の花序をつけ、多数の花を密集して開きます。梅雨明け頃までの間、我々の目を楽しませてくれる代表的な花木です。

絶好の句材ですので、存分に詠い上げてください。

兼題を含む5句を前日までに世話人宛お寄せください。

紫陽花や藪を小庭の別座敷
あぢさゐや仕舞のつかぬ昼の酒
毬重うして紫陽花は智恵の花

芭蕉
乙二
悦子

入会大歓迎です。やさしく、暖かく皆で楽しめる会です。世話人までお声掛けください。

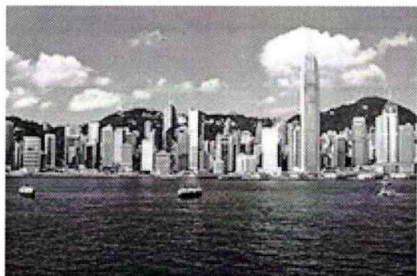
(稲雀 記)

< 投稿 >

「香港生活あれこれ」

高橋 正夫 (昭 35 政経)

私が仕事の関係で香港に住んだのは1993年から2003年でちょうど10年間だった。中間の1997年に英国から中国への香港返還があり、パッテン総督が船で去ってゆく歴史的瞬間も目撃した。一国二制度という国際協約のもと、返還後、香港の生活状況に変化は見られなかったが、中国政府に批判的だった「りんご日報」の経営者ジミー・ライが中国国内で展開していたアパレルチェーン「ジョルダーノ」の販売停止処分など、自由な言論に対する圧力で、徐々に共産党体制下に組み込まれる兆しはあった。これまで英国の数多い植民地の中でも最も成功した例として、香港は長期にわたって自由で民主的な政治・経済が営まれ、香港人と英国人の融合化も進み、香港人の自治体制が整い、快適な居住・ビジネス環境が維持されてきた。返還までは英語は小学校から必修科目として学ばれ、一般人に広く普及しているため国際ビジネス環境として最適の地であった。香港経済の重要性を示すものとして、いまでも国際金融センターとして世界第3位の地位を維持し続けている。その後たまに香港を訪れて



いるが、表面的には自由であり、特別空気が変わったということとは感じられない。一方においてすさまじい本土からの観光客の流入や投資によって、香港経済は活性化し、更に新たな超高層ビルの建設ラッシュで、今や本土との結びつきなしでは立ち行かない実態になっている。しかし、金持ち階級の中国人が闊歩する一方で、香港の従来維持してきた清潔さも乱れてきて、お金にスポイルされる世界になりつつあることは残念なことだ。

私が初めて香港の地を踏んだのは 1970 年代、一步空港から出ると、今は特定場所以外禁じられている、香港人愛好の臭豆腐の混ざった独特の匂いが立ち込めていた。その後中東への出張からの帰りになど立ち寄り、香港空港に降り立つとほっとするなんとも懐かしい匂いがあったが、今はその面影さえ残っていない。メランコリックな情緒の漂う、映画「スーギー・ウオンの世界」や「慕情」の舞台が遠く過ぎ去ってしまったのは寂しい。しかし変わらないのは香港の美しい自然の風景。群衆で動きも取れないほど混雑する中心地から、北部の新界と呼ぶ平野部に足を延ばせば、喧噪とは別世界ののんびりとした農村風景が広がっているし、東側は東支那海に面して複雑に入り組んだリアス式海岸が連なり、風光明媚である。休日などにはこの美しい海岸に出て、しばし仕事の疲れを癒すことができた。西貢という地元の人々にも人気のある美しい漁村など、生簀に活魚を泳がせ、それを注文して店に持ち込んで料理してもらおうレストランが海岸に立ち並び、舌づつみをうったものだ。



仕事に関連しては香港人は一般に勤勉である。実力の世界なので幼いころから猛勉強する者が多く、眼鏡をかけている中学生が異常なほどに多い。競争社会であり、日本の大学とは違い、香港大学やポリテクス大の卒業者はその専門を身に付けているものが多い。

私の経験で言えば彼らを雇用する場合、その面接で自分の専門知識やキャリアを売り込む術にたけている。そこを見極めて採用すれば即戦力になる人材が多い。OJT で人材を育成してゆく日本とはこの点が決定的に異なり、英米式である。私などととても恥ずかしくて、大学の専攻が経済だなどと言えたものではない。自分の不勉強を棚に上げて、日本の教育制度のせいにしてしまっているが。

香港人の食生活にふれると、各種中華料理の奥深さと行き届いたサービスの提供において、まさに世界のグルメ大国と言ってよいとおもう。香港では一般的に家で食事を取るのにはメイドを雇う一部の金持ち階級か、外食できない貧乏人と言われ、ほとんどの人は 3 食とも外食する。千人以上も収容する飲茶レストランでは、朝から大勢の客を収容し、習慣として休日など大家族でテーブルを囲んだり、ひとりで来て新聞を広げて長時間居座る客はごく普通の風景である。住環境が一般に狭く、外で過ごすのが快適という理由もあるのかもしれない。

ところで香港の凡そのプロフィールだが、正式名称は「中華人民共和国香港特別行政区」で、東京 23 区の倍位の地域に、私が住んでいた時点で 600 万人弱、その後激増して、現在 700 万を超える人口を抱えている。元々の香港人の 94 % が華人と言われ、自由と安全を求めて中国本土から逃げてきたり、移住してきた人々が主になっている。言語は広東語で北京語（標準語）とはほとんど通じ合わない。そして日本人が聞くと、北京語との比較では騒々しく、品がなく聞こえてしまう。バスや地下鉄の中で喋られると耳をふさぎたいほどである。マナーも決して褒められたものではないが、それでも本土に比較すれば数段よく、社会的な常識が通じる世界である。それでふんだんにお金を落としてくれる本土からの観光客を歓迎しながら、一方で顔をしかめているのが実情だ。中国に編入され、政治的な自由は失われたが、今日まで香港は観光地としてだけでなく、我々日本人にとっても住環境としては快適と言ってよい。住居費は日本よりも高く、物価も日本並みになってしまったとはいえ、生活面の便利さで他の国々比べて優れているとおもう。香港に住む日本人は一時 3 万人に近い時期があったが経済の低迷や 2002~3 年に大流行した SARS ウイルスの影響で私が帰国した 2003 年には 14,000 人台まで激減していたが、現在は 27,000 人位に増加しているとのこと。中国政府が本国で得ることのできない国際経済のメリットを認識していれば、香港は独自の優位性を維持して将来も発展し続けるのではないかと予想している。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	6月					7月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	—	—	—	—	—	26	日	8:30	*	—	高橋正	042-309-3407
郷土史の会	23	火	9:00	東村山駅上りホーム	—	—	—	—	—	—	高橋正	042-309-3407
テニス同好会	1	月	11:00～15:00	運動公園コートC	—	12	日	9:00～11:00	運動公園コートC	—	野村茂	042-393-7036
	10	水	13:00～15:00	運動公園コートD	—	22	水	15:00～17:00	運動公園コートB	—		
囲碁同好会	20	土	13:00～	市民センター別館	—	—	—	—	—	—	高鷺	042-394-2336
カラオケ同好会	6	土	19:00～	カラオケランドズー	—	5	日	19:00～	カラオケランドズー	—	南湖	042-390-2287
園芸の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	當摩	042-396-3033
麻雀同好会	21	日	12:30～	サロ「園」	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	市川	042-308-8181
俳句同好会	27	土	14:00～	「丸藤」2階	—	—	—	—	—	—	井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	紅松	042-393-6924
グローバルサロン英語の会	16	火	14:00～16:30	市民センター2階	—	14	火	14:00～16:30	市民センター2階	—	滝川正	042-394-8187
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大内	042-393-6543
パソコン同好会	6	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	4	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	20	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	18	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	6	土	15:00～16:30	ふるさと歴史館	—	—	—	—	—	—	當間	042-391-6023

編集局だより

○ 今年の5月は例年にない高温続きで、すっかり夏模様でした。体調に変調をきたした方もいらっしゃるの

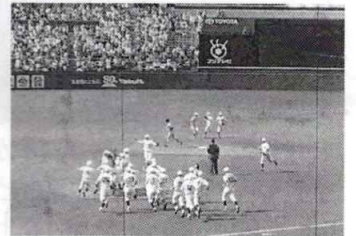
ではないでしょうか。我が家のバラも調子が変わり、早々と盛りを過ぎてしまいました。

- そんな中、早稲田の野球部が熱く燃えてくれました。早慶戦での勝利により優勝決定とは何とも気持ちの良い話。皆、がんばったな！今年は東大野球部も6大学リーグでの連敗を94で止めて、本当に久方ぶりの勝利。熱いシーズンでした。

- 次号の締め切りは6月20日（土）です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

Fax : 042-396-5698 Email : teruo_tohma@ozzio.jp

(當摩 照夫、写真 大内 一男)



俳 壇

満開の千鳥ヶ淵は人の波
こどもの日平和憲法宙に舞ふ
黒田 柿黒

老いてなお万緑の中エアーK
風に舞うじゃがいもの花西施かな
高部 糸行

蚊は未だで風の程よき春惜しむ
転動を伝える客に柏餅
戸田 梟

目に青葉リセット込めて大地踏む
笑つてるあやめドクダミバラの花
八木 竜湖

解禁日焼ひに鮎をさぐりをり
どくだみに疑ひを解く白クロス
山下 波雲

夕刊の遅れて届く薄暑かな
麦秋に思ふはT P Pのこと
栗島 三郎

軽装の試歩にはじまる立夏かな
外地から娘の長メール柿若葉
井垣 稻雀

軽やかに正門通る更衣
更衣後期高齢脱ぎ捨てて
出田 麦穂

皺深く黒き吾が手に風光る
年頭の誓ひ何処へ夏来る
菊田 一平

動き出すあふひ祭の奥の列
おまつりの奥に従ふ市女傘
幸田 瑞雄

孫言いし柏餅の葉あとでねと
松本中長き歴史に若葉風